

抗議先について

- ◆橋下大阪市長への抗議先/Fax.06-6202-6950
(大阪市役所・政策企画室秘書部秘書担当)
- ◆日本維新の会抗議先/Fax.06-4963-8801
- ◆大阪維新の会抗議先/Fax.06-6120-5582

橋下大阪市長の「慰安婦は必要」発言に断固抗議し、その撤回と謝罪、および大阪市長の即時辞任を強く求める(声明)

2013年5月14日
 全大阪労働組合総連合
 議長 川辺 和宏
 女性部長 鈴木まさよ

橋下徹大阪市長(日本維新の会共同代表)が13日、旧日本軍「慰安婦」問題について、「慰安婦制度というものが必要なのは誰だってわかる」などと、慰安婦制度そのものを正当化し、女性の人権を踏みにじる暴言を吐いた。

橋下市長はこれまで、「慰安婦」問題について「強制連行」の事実をゆがめ、度重なる暴言を繰り返してきたが、今回はさらに踏み込んで制度の「必要性」を説くところまで暴言をエスカレートさせている。まさに人権感覚が欠如した、人間の尊厳をおとしめる、許しがたい発言であり、既に多くの批判が巻き起こっていることは極めて当然である。

大阪市議会が、2010年10月13日に可決した「日本軍『慰安婦』問題の早期解決に関する意見書」は、日本が戦争で「近隣諸国の人々に多大な被害」を与え、「戦争被害の傷は癒されておらず、日本軍『慰安婦』問題は、その象徴的な被害であり、人間としての名誉と尊厳を著しく傷つけられた被害者の思いは筆舌に尽くしがたい」として、国に対して「河野談話に矛盾しないよう慰安婦問題の真相究明を行い、被害者の尊厳回復とともに、今日なお存在する女性への暴力・人権侵害の解決に向け、誠実に対応されるよう強く要望する」としている。今回の発言は、この立場にも背く、およそ自治体首長としてあるまじき行為である。

これは人間としてはもちろんのこと、大阪市長としても、日本の政治家としても、根本からその資格が問われる重大な発言である。大阪労連は、橋下市長に対し、満身の怒りを込めて断固抗議し、この発言の撤回と謝罪、および大阪市長職の即時辞任を強く求めるものである。

以上

